



2021年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社ダスキン
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 山村 輝治
 (コード番号：4665 東証第一部)
 問合せ先 取締役 執行役員 大久保 裕行
 電話 06-6821-5071

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年4月28日開催の取締役会において、2021年2月8日付で開示した2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(1) 連結業績予想数値の修正

2021年3月期 通期(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	152,100	1,400	3,700	700	14円19銭
今回修正予想(B)	153,700	4,600	6,600	2,800	56円74銭
増減額(B-A)	1,600	3,200	2,900	2,100	—
増減率(%)	1.1	228.6	78.4	300.0	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	159,102	6,577	7,929	5,591	109円95銭

(2) 個別業績予想数値の修正

2021年3月期 通期(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	122,100	△300	3,200	700	14円19銭
今回修正予想(B)	123,000	2,400	6,000	2,500	50円66銭
増減額(B-A)	900	2,700	2,800	1,800	—
増減率(%)	0.7	—	87.5	257.1	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	127,838	3,956	7,419	5,614	110円39銭

2. 修正の理由

当社は、第3四半期までの業績動向に鑑み、新型コロナウイルス感染症の拡大(以下「コロナ」という。)が業績に与える影響は、期を通して想定を下回るものと判断し、2021年2月8日に売上高、利益とも通期業績予想を上方修正(以下「前回修正」という。)いたしました。

第4四半期は、コロナの状況は一進一退を繰り返し、終息時期が見通せない状況が続きましたが、業績への影響は前回修正時をも下回り、売上高、利益とも前回修正予想を上回って着地する見込みとなりました。売上高につきましては、訪販グループが概ね計画通りに推移した一方、フードグループは、第4四半期に発売した「ピエール マルコリーニ コレクション」が大きな反響を呼ぶ等、ミスタードーナツが上振れしたことで上振れする見通しです。利益面につきましても、フードグループの売上上振れに伴う粗利の乖離に加えて、原価率の下振れで、売上総利益が上振れする見通しです。更に、使用時期を下半期にスライドした広告販促費用の一部を使用しなかったことや時間外手当等の削減による人件費の圧縮等、経費使用も抑制的に運用したことで、営業利益以下、各段階利益が大幅に上振れする見通しです。

なお、2021年3月期の配当につきましては、2020年6月10日に開示した予想の修正は行いません。既
に実施済みの第2四半期末20円に加えて期末20円の配当を実施し、1株当たりの年間配当合計は40円
となる予定であります。

(注)上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

以上

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。
株式会社ダスキン 広報部 電話 06-6821-5006